

あとがき

「学びをつなぐ子供を育てる教育活動の創造」を研究主題として設定し、3年次研究のまとめとなる研究大会を終えました。

本年度の研究は、「子供が学びをつなぐ学習づくり」をテーマとし、3年間を総括する研究を進めてきました。本校で育てたい6つの資質・能力を育成するために、各教科・領域における本質的な学習の継続とより一層の充実が必要であると考え、子供が学びをつなぐ学習の具現化を目指して研究を重ねてきました。

研究大会での実践や研究成果などを、教育研究大会実践報告集「原思90号」としてまとめました。御高覧いただき、御指導を賜れば幸甚に存じます。

研究同人

校 長	南部 正人		
副 校 長	米津 理臣		
主 幹	安部 彰浩		
教 諭	西條 俊介 (全体・算数)	小野 義幸 (社会・特別活動)	
	上野 健太 (国語・外国語)	小原 広士 (総合的な学習の時間)	
	高橋 明子 (体育)	小野 晴子 (理科・道徳)	
	秋山 玲奈 (家庭)	谷口 彩 (音楽)	
	盛永 枝里 (図工)	松田 隆之 (社会)	
	三村 仁 (算数・外国語)	林 裕輔 (生活)	
	菊田 康平 (理科)	成田 翔 (算数)	
	白倉 由佳 (養護・学校保健)	武田 愛美 (栄養教諭)	
	米澤 一保	西田ひで子	
	岡田 純子	芳賀 健斗	
	勝瀬 駿太	及川 竜真	
	ディーン・ゼンキ		
転 出 者	小山和歌子 (旭川市立朝日小学校へ)		
	丸山 賢悟 (上海日本人学校浦東校へ)		

誌名「原思」

「原思」の由来は、中国の古典『近思録』に見える程伊川の言葉「学原於思」[学は思うに原(もと)づく]です。学問は、そのことを我が身の問題として思い考えることから始まります。とかく耳目から得た知識をもって、道理が明らかになったと考えがちですが、自分の身の上の問題として深く考えるのでなければ、本当の学問ではないという意味をもった言葉です。

教育の生半可な受け売りや紙上の知識を厳しく戒め、教育は深い思索と思想に基づく研究と実践によらなくてはならないという私たちの教育基調を表しています。